

チーム医療を基礎に活動を 始めた血液内科病棟



明和病院 東5階病棟
市成小百合

医療法人 明和病院



- 病床数 357床（一般 311床、療養 46床）
- 一般病棟入院基本料 7：1看護
- 職員数 約560名
- 診療科

内科、総合診療科、救急科、循環器内科、血液内科
外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、
小児科、産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、
耳鼻咽喉科、形成外科、泌尿器科、歯科口腔外科、
麻酔科、腎・透析科、放射線科、放射線治療科、
放射線診療科

東5階病棟



- 病床数：43床

【内訳】

- 血液内科：12床（クリーンルーム2床＋移動式クリーンウォール3機）
→開設当初は7床運用で、現在平均 15～18床使用
- 外科：18床 固形癌化学療法・TAE・ラジオ波・緩和
- 内科：9床 肺炎・化膿・大腸ポリープ 他
- 緊急：4床 人間ドック・泌尿器科・整形外科・乳腺・歯科
口腔外科等の入院患者を収容する混合病棟である

【スタッフ数】

血液内科医師：1名

血液内科非常勤医師：1名（1回/w午前）

看護師：26名（師長含む）

看護助手：2名

血液内科概要



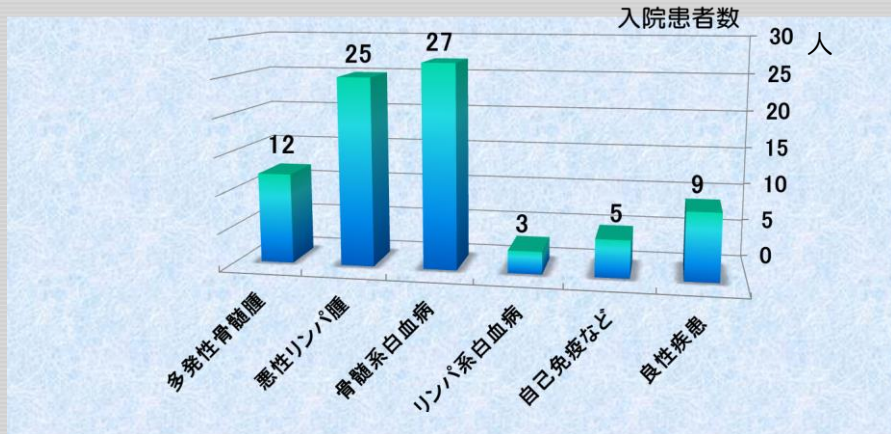
- 2012年 10月 血液内科外来開設
- 2013年 3月 血液内科病棟開設
- 2013年 幹細胞移植部会の設置

【治療実績】

- 抗癌剤治療
- 幹細胞移植症例数
自家末梢血幹細胞移植2例
家族ドナーによるHLA半合致移植3例

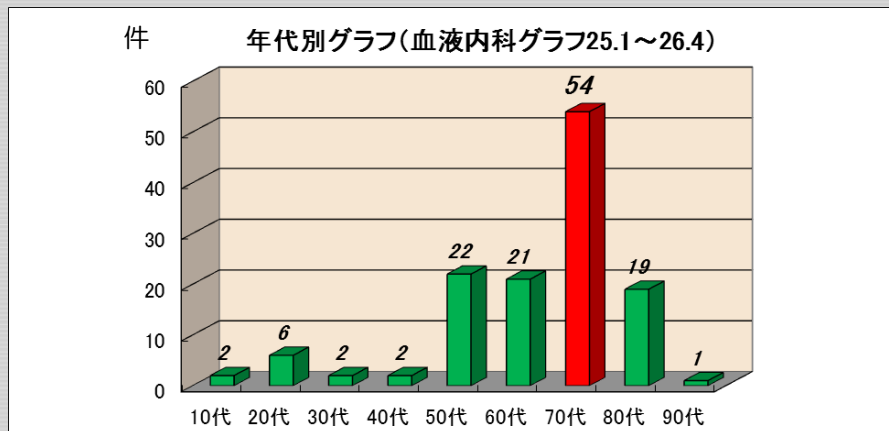
血液内科疾患別入院患者

- 入院患者数：81名（2013 4月～2014 7月）
- 在院日数：110日

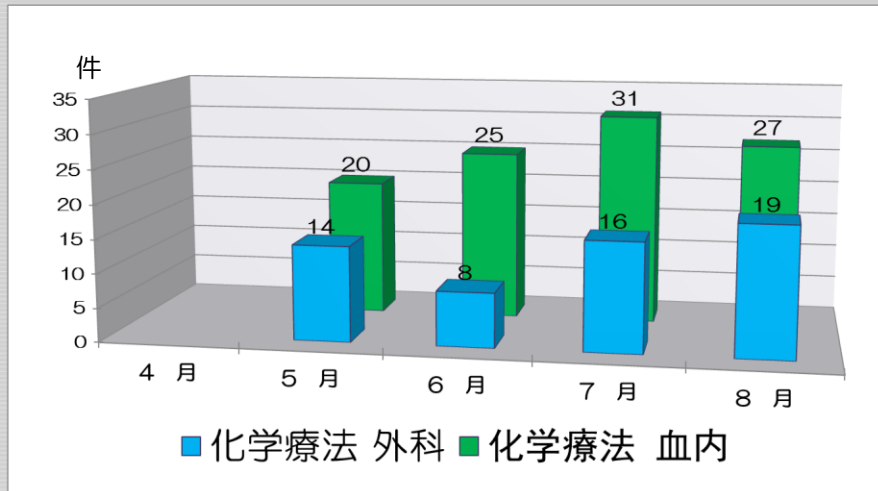


血液内科入院患者の概要

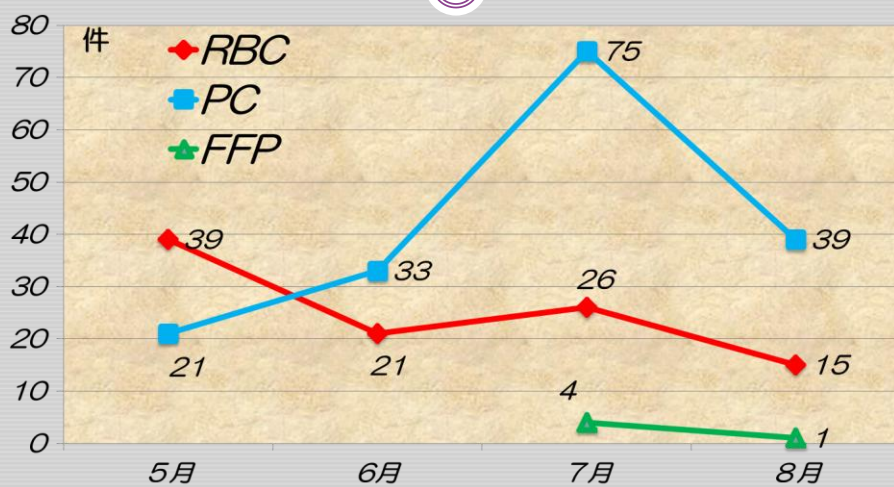
平均年齢：71歳(2014年7月現在)



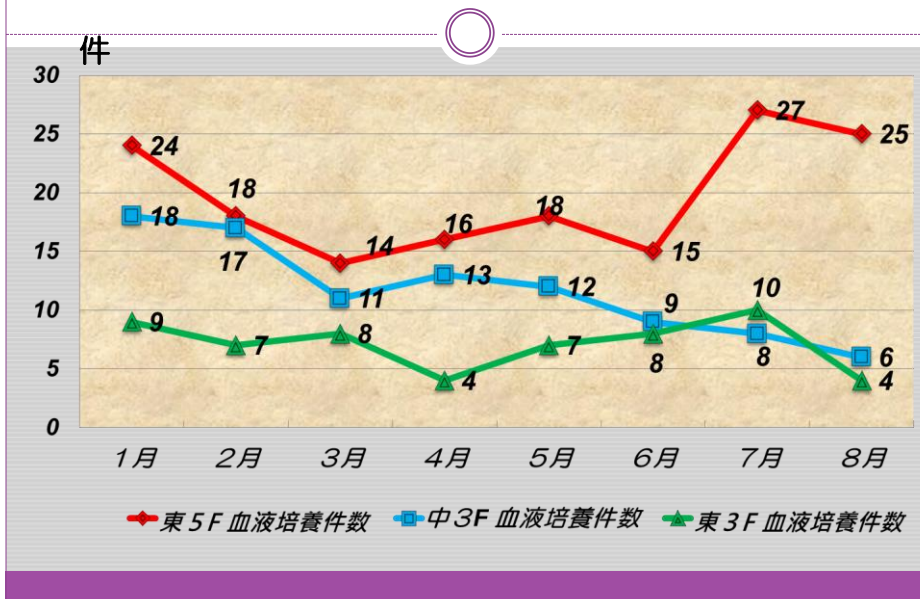
H26年 東5階 月別化学療法件数



東5階 月別輸血数



月別血液培養件数



当院の認定看護師とチーム紹介

1. 認定看護師

- 感染管理認定看護師：2名
- 皮膚排泄ケア認定看護師：3名
- がん性疼痛看護認定看護師：1名
- 小児救急看護認定看護師：1名
- がん化学療法看護認定看護師：1名
- 摂食・嚥下障害看護認定看護師：1名
- 訪問看護認定看護師：1名

2. 医療チーム

- NST・褥瘡対策・RST　・緩和ケア
- 化学療法・ICT

患者ケアカンファレンス

- 毎週火曜日と金曜日の13時30分～14時に実施
- 患者の情報共有と問題点を抽出し、個別性に応じた看護を実践している



退院調整カンファレンス

- 毎週火曜日13時30分から14時に実施
- 退院調整看護師と退院調整カンファレンスを行うことで、患者の問題点を早期に把握し、安心して退院ができるよう介入している

【問題点】

- 高齢化に伴うADLの低下
- 退院に必要な指導が必要
- 早期介護認定の申請
- 外来通院の調整



外科の化学療法カンファレンス



- 毎週木曜日の朝8時～8時30分まで、外科医師と薬剤師、病棟看護師、外来化学療法室看護師が集まり、固形癌の患者についての病状説明、今後の治療及び問題点について、それぞれの立場からの意見の調整を行いケア介入している
- また、外来化学療法室看護師と血液内科患者の情報交換も合わせて行っている



管理栄養士とのカンファレンス



- 第2・第4木曜日の13時30分～14時に実施
- 患者の情報を共有し、主に化学療法後の食思不振患者の食事提供についてカンファレンスを行う
- 管理栄養士がベッドサイドへ訪床し可能な限り患者の希望を聞き取り、食事に反映している
- NSTラウンドは毎週月曜日に行っている



緩和チームケアラウンド



- 毎週水曜日午後にラウンドあり
- ラウンド当日(13時30～14時)に病棟スタッフ間で事前に患者の情報共有と問題点を抽出して、緩和ラウンドの際にまとめた内容の情報提供を行い、問題となる事案の解決策に繋げている



課題 1



1.血液内科看護の経験が浅い

- *病棟スタッフが4つの活動チームに分かれて、それぞれ活動目標・内容の年間計画を立て実践している
 - ①血液内科チーム
 - ②化学療法チーム
 - ③退院調整チーム
 - ④緩和チーム
- 血液内科医師による症例カンファレンスと定期的なリチャ-
- 外部への積極的な研修参加
- 病棟勉強会：月2回(第1金曜日・第3水曜日)

《血液内科医師の症例カンファレンス》



《非常勤医師によるミニレクチャー》

- 毎週木曜日11時から、入院患者の中で問題となる症例の疾患や症状、治療に至る全てについてのQ&Aも含めたミニレクチャーを実施している
- わかりやすいレクチャーで、リアルタイムに患者の状況を把握し、ケアに繋がられる



《東5階病棟勉強会》

- 今月の勉強会テーマは血液内科チームによる「悪性リンパ腫について」を行った



課題 2

2.感染対策意識に温度差がある

- ①感染患者の増加（MRSA・CD・ノロ）
- ②易感染状態の患者の増加
- ③血流感染（CVC・CVポート）

【対策】

- ①環境を整える
- ②看護師への感染対策教育
- ③感染管理認定看護師からの勉強会・ICT病棟ラウンド



院内の医療チームが介入した事例

- A氏 男性 40代
- 病名 慢性単球性骨髓性白血病
長崎で発症、地元での移植を希望し来阪するが他病院で断られ当院へ紹介入院となる。
- 入院後の経過
7/3、4実弟より末梢血幹細胞採取を施行
7/29移植・8/8追加移植
8/11生着
8/13GVHD（下痢）9/初旬 GVHD（皮膚）
- 介入したチーム・他科
緩和チーム： 全身痛に対しオピオイド使用
WOC 形成外科 皮膚科：GVHD（皮膚症状）
RST：呼吸状態悪化時にNIPPV装着

他科との連携強化

【血液内科医師1名のサポート体制】

- 外科：外科的処置（CVカテーテル・胸腔ドレーン挿入等）
- 循環器内科：循環器管理
- 腎臓内科：透析治療・特殊透析（吸着・血漿交換）
- 口腔外科：移植・化学療法前後の口腔ケア
- 形成外科・皮膚科：移植後のGVHD、
化学療法後の副作用対策
- 麻酔科：人工呼吸器管理
- コメディカルスタッフ
：臨床検査技師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士
管理栄養士

私たちが目指すチーム医療



多職種との連携を図りながら、患者が必要とする医療・看護ケアの介入が遅れることなく、安心して療養生活が過ごせる患者を中心としたチーム医療

東5階病棟スタッフ



みんなで頑張っています(^o^)



ご清聴ありがとうございました